

議員協議会で提案されました

人口減社会に対し、施設の統廃合の素案が提示されました

燕市建物系公共施設保有量適正化計画（素案）について

企画財政課

- ・計画期間…2044年までの25年間
- ・現在8万人の燕市が25年後には6万人を割り込んでしまうという人口予測
- ・合併算定替特例期間の終了による国の財政支援の減少
- ・建設時期が昭和50年代に集中している施設の建て替えや更新時期の対応

◆ これらの諸要因に備え、施設の減築、他施設との複合化や統廃合により総量縮減に向けた案について検討された。ただし25年先という長期の方向性を示したものであり、市民や議会の理解と合意形成が必要とされる。

第2次幼稚園・保育園適正配置実施計画（素案）について

子育て支援課

- ・計画期間…2024年末までの6年間
- ・高まる未満児保育のニーズへの対応
- ・有利な財源の活用ができる民営化への移行
- ・園児数の減少が見込まれることからくる統廃合

◆ これらの要因を踏まえ、具体的な対象園（施設）が提示され、検討された。



燕市小中学校いきいき課外活動の在り方に係る方針（素案）について

学校教育課

小中学校における部活動や、スポーツ少年団における活動は、スポーツや文化に親しむことにより、学習意欲の向上や責任感など、燕市が目指す「生きる力がみなぎるつばめの子ども」を育成する活動の一環として、大切な役割を担っている。

それぞれの活動が抱える課題に対し、燕市教育委員会では「燕市小中学校 いきいき課外活動の在り方に係る方針」を策定し、課外活動を通じて、生涯



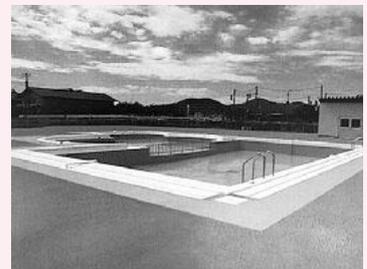
中学校の部活動のようす

スポーツ・生涯学習へとつながることを目指すものである。

社会教育施設使用料見直しの検討状況について

社会教育課

今回で5回目となる報告内容は、「個人利用の料金設定」についてであり、主に市内のプール利用料金などの変更について説明された。



分水の市民プール



このほか「債権管理条例の制定」「子どもの貧困対策の検討状況」「燕市自殺対策計画（素案）」についても提案されました。

